

ブナシメジ由来の Sarcoma-180 腫瘍増殖抑制物質の分画

【目的】前報では、市販の食用きのこ 4 種類（ブナシメジ、エノキタケ、マイタケおよびシイタケ）の乾燥粉末混合物を S-180 担癌マウスに混餌投与した際に腫瘍増殖抑制作用が見られることを報告した。本報では前報と同じ実験系を用いて主成分のブナシメジ乾燥粉末の腫瘍増殖抑制に有効な成分の探索を行った。

【方法】各画分の腫瘍増殖抑制作用は、S-180 担癌 ICR マウスを用いて試験した。各画分を飼料に混合する際には分画前のブナシメジ乾燥重量に換算し、10%相当量を標準粉末飼料（CE-2）に混合した。混餌経口投与は S-180 細胞移植 7 日後より開始した。

【結果】ブナシメジ子実粉末の熱水抽出物を遠心分離して不溶性画分と可溶性画分（子実粉末重量の約 40%）を得た。続いて可溶性画分の限外濾過によって得られた分子量 10 万以上（可溶性画分の約 10%）の画分に活性が認められた。さらに DEAE-セルロフアインによる分画を行うと、非吸着画分に腫瘍増殖抑制作用が認められ、その画分の乾燥重量あたりの比活性はブナシメジ子実乾燥粉末の約 40 倍に上昇していた。